

第70回車座集会（川崎区）結果概要

1 開催概要

日時 令和6年12月1日（日） 10:00～12:00
場所 市役所第3庁舎1階ロビー、2階かわさき多文化共生プラザ

（1）テーマ等

川崎区が多文化共生～防災を切り口に地域でのつながりを考える～

川崎区在住の外国人市民と市長が意見交換を行いました。

◆開催趣旨、進め方の説明

◆ワークショップ（説明） 防災に関する基礎知識、地域の方の取組（自主防災組織、地震の際の避難所運営など）

◆ワークショップ（GW） ・自分が行くべき避難所探し、そこへ行く際の注意点などを考える
・母国との違いや、川崎市の防災対策などについて意見交換

◆グループワーク発表

◆意見交換① 母国との違い、地域の取組などについての気づきを発表

意見交換② 参加者がつながっている場所の共有、かわさき多文化共生プラザを活用してできること・やってみたいことなどの共有

（2）参加者、傍聴者

計15名（参加者12名（中国、ベトナム、フィリピン出身の方）、傍聴者3名）

2 アンケート結果

2ページ以降参照

3 意見交換の概要等

5ページ以降参照

第70回車座集会（川崎区）アンケート集計結果

※回答数：7件 回答率：47%
(参加者 5/12人 傍聴者2/3人)

(参加者)

問1 本日の車座集会に参加して良かったと感じる点はどんなことでしょうか。（複数回答可）

防災に関する気づきがあった	地域の活動に興味をもつきっかけになった	参加者同士のつながりを深めることができた	自由な議論ができた	自分の考えを伝えることができた	特に良かったことはない
4	3	3	2	1	0

(その他) 今後どうすれば川崎区でよくなるのかを知った

問2 開催日時は参加しやすかったですか。

参加しやすかった	やや 参加しやすかった	あまり 参加しやすくなかった	参加しやすくなかった
3	2	0	0

問3 かわさき多文化共生プラザがオープンしたことを知っていましたか。

知っていた	知らなかった
4	1

問4 かわさき多文化共生プラザで開催してほしい講座やイベントなどがありますか。（複数回答可）

地域の防災訓練やお祭りに ガイドや通訳付きで参加する イベント	防災など、いざという時の 知識を学ぶ講座	日常生活に必要な知識や ルール・マナーなどを学ぶ講座	託児サービスがあるイベントや 親子で参加できるイベント
5	4	4	2

（その他）イベント（多文化）

(傍聴者)

問 1 今回の意見交換の中で、特に関心を持ったことはどのような点でしょうか。

- ✓国民性の影響により、異なる点が生じること
- ✓広報について不十分だと思った

問 2 お住まいの地域で、外国人市民（旅行者ではなく、住んでいる方）に関する話題が出たことはありますか。出た場合、どのような話題が出たのか、お聞かせください。

- ✓ゴミ出し等の日本のルールをどう理解させるか、どのような方法があるのか。
- ✓ゴミの出し方。社宅として利用しているマンションとのトラブル。

問 3 車座集会で取り上げてほしいテーマや御意見など

- ✓マンションが町内会会員に入れるような手段がほしい。
- ✓多様なテーマに取組がほしい。



第70回車座集会(川崎区)振り返り 川崎区の多文化共生～防災を切り口に地域でのつながりを考える～

1. 主な意見

(1) 防災に関すること

- ・ 避難所を地元の人が運営しているという話があったので、日常的に地域の人との交流が必要ではないかと感じた（中国）
- ・ 子どもが小学校に入ったことでその小学校が避難所になっていると知ったが、入るまでは知らなかった（ベトナム）
- ・ 子どものころは危機感が薄いので、外国人の子ども向けの配信など、目に留まるようなものがつくれたらよい（フィリピン）
- ・ 外国人は、避難バッグにパスポートや在留カードなどの身分証を入れないといけないが、出入れ作業が結構面倒なので、役所の手続きに使うものは基本的にコピー可となったり、市内だけで使える身分証などがあるとよい（フィリピン）
- ・ よくないことを考えたくないという気持ちから、災害のことをあまり考えない（ベトナム）



(2) つながりに関すること

- ・ 町内会自治会や地域のイベントは、知らないため参加したことがない（中国）
- ・ 中国コミュニティは、SNS(WeChat)中心で、中国人同士のつながりになってしまっている（中国）
- ・ フィリピンは、川崎区ではなくて、大使館につながっているコミュニティがたくさんある（フィリピン）
- ・ ベトナムコミュニティは、区内に住んでいるベトナム人のFacebookグループや大師地区のお母さんの交流会などがある（ベトナム）
- ・ ふれあい館のSNSでも多言語発信をしている（中国、ベトナム）

(3) かわさき多文化共生プラザに関すること

- ・ 国際交流センターは駅から遠く車を持っていない外国人には行きにくい、川崎区(川崎駅近く)にあるということは力があると思う（ベトナム）
- ・ 入管の相談ができるのは強み（フィリピン、中国）
- ・ サラリーマンには、運営時間（9時～17時）内に利用することが難しいので、夜も利用できるとよい（中国）
- ・ 行政は怖い、硬い、というイメージがあり、市役所庁舎には入りにくい（ベトナム）
- ・ 待ち合わせ場所にしたり、気楽にコミュニケーションを取れる場所にしたい（フィリピン）

＜傍聴された町内会長より＞
外国人の町内会イベント参加はウェルカム！
町内会活動にも参加してくれたら嬉しい。





第70回車座集会(川崎市)振り返り 川崎市の多文化共生～防災を切り口に地域でのつながりを考える～

2. 意見のまとめ

- ✓ 災害時など、いざという時に助け合えるために、日常的に外国人住民と地域の人との交流があった方がよい

➡ 外国人住民と地域とのつながりづくり

地域の方も
ウェルカム！

- ✓ かわさき多文化共生プラザを、コミュニティづくりの場としたい

- ✓ 防災のことなど、大切な情報が正しく伝わるコミュニティ(区内に住む方が参加できるもの)があるとよい

➡ かわさき多文化共生プラザを拠点としたコミュニティづくり

プラザを
外国人住民が集まり、
つながれる場に！

- ✓ 駅から近く様々な相談ができるかわさき多文化共生プラザをもっと知ってもらいたい

➡ 外国人住民にも発信してもらい、かわさき多文化共生プラザを知ってもらう

プラザにアクセスすれば
知りたいことがだいたいわかる、
を目指す！





第70回車座集会(川崎市)振り返り 川崎市の多文化共生～防災を切り口に地域でのつながりを考える～

3. 今後の取組

かわさき多文化共生プラザを拠点とした
コミュニティづくり

令和7年4月～

・ プラザにおける定期的な交流の場のオープン

日時、場所：毎月固定週の土曜日 午後（13時～17時を想定）、プラザのコミュニティスペース等

運営スタッフ：運営ボランティア2～3名（コーディネーター1名、外国人住民1～2名）※

※運営ボランティアは登録制とし、3月頃から通年募集。各月のスタッフはそのなかから決定する。

区役所職員1～2名

毎月の実施内容：

○ 運営スタッフによる、コミュニティの場の提供

- ・外国人支援経験等のあるコーディネーターによる個別相談対応や、外国人住民によるちょっとしたお困りごとの相談対応なども含め、行ったら話を聞いてもらえる、という場を設ける。話の内容により、平日の専門相談や講座等の企画等につなげていく。

○ 講座やミニイベントなどの開催（各回1～2枠、プラザまたは復元棟での開催を想定）

- ・地域のルール・マナーを知る講座、子育て支援・学習支援等の日常生活を支援する講座、季節のイベントなどを開催する。
- ・持ち込み企画枠を用意し、やってみたいことの実現の場を設ける。
- ・地域のお祭りや防災訓練に参加するツアーなど、地域での講座やイベントを実施する。

○ 区在住外国人や、支援者等が集まる多文化イベントの開催（全12回のうち年1回、復元棟での開催を想定）

- ・外国人によるブース運営や音楽等の発表、多文化共生に関するゼミなどがある大学等と連携したワークショップなど、地域に住む外国人同士や支援者等とのつながりを強め、新たな参加者を呼び込む場として開催。

中間目標

- ・プラザにコミュニティができ、外国人住民が新たにきた外国人住民をお手伝いしている



第70回車座集会(川崎区)振り返り 川崎区の多文化共生～防災を切り口に地域でのつながりを考える～

3. 今後の取組

外国人住民と地域との
つながりづくり

令和6～7年度

・ ウェルカムバッグの中身の見直し

外国人の方にとって「自分が見る必要のある書類だ」と伝わる工夫をしてその書類を見てもらう。また、そのことにより、自分の住んでいる地域に関心を持ってもらう。

例えば、多言語見出しを付けた目次のような資料を作成し、それを一番上にして渡す。バッグ（封筒）も、外国人転入者向けの多言語表記を加えたものとする、町内会加入案内チラシを多言語表記で作成して入れておくなど。

・ 地域のお祭りや防災訓練などに、多言語対応をしながら外国人住民のグループに参加してもらう

区が受け入れ可能団体を探し、コミュニティスペースの運営ボランティアを中心としたツアーを実施する。

中間目標

- ・ 外国人住民が、居住エリアの町内会・自治会等の活動に参加している

認知度向上に向けて
知ってもらう

継続的取組

・ 様々な機会を捉えて、かわさき多文化共生プラザを紹介する（SNSや口コミなど）

外国人住民からの発信を促す。また、町内会・自治会や民生委員・児童委員等への説明を行うなど。

・ 多文化共生関連事業の情報をかわさき多文化共生プラザに集約する。



外国人住民も地域住民と同様に「普通に」暮らせるエリア